

平成 26 年度第 2 回 焼津市地域公共交通市民分科会 会議録	開催	日時 平成 27 年 1 月 13 日 午後 2 時～3 時 40 分	
		場所	市役所 6 階 603 号室
議題	<p>(1) (仮称) 大覚寺線及び (仮称) 下根方地区デマンド型乗合タクシーの検討経過について</p> <p>(2) 市内バス路線の利用状況及び運営基準による評価について</p> <p>(3) 一色和田浜線「浜一色福祉老人センター」バス停について</p> <p>(4) 平成 27 年度 自主運行バス路線の運行計画について</p> <p>(5) 平成 27 年度 路線バス単独継続困難路線の対応について</p>		
出席委員 10 名	<p>(委員)</p> <p>委員 清水 栄男 (焼津市自治会連合会)</p> <p>委員 岩崎 四郎 (焼津市自治会連合会)</p> <p>委員 山内 道弘 (焼津市自治会連合会)</p> <p>委員 平田 五子 (さわやかクラブやいづ連合会)</p> <p>委員 岡本 勝市 (さわやかクラブやいづ連合会)</p> <p>委員 鈴木 春子 (焼津市民生委員児童委員協議会)</p> <p>委員 山田 敏晴 (焼津市身体障害者福祉協会)</p> <p>委員 天野 雪子 (大井川商工会)</p> <p>委員 原川 二三四 (公募)</p> <p>委員 小川 弘人 (公募)</p> <p>(事務局) 寺尾 隆之 (都市基盤部長)</p> <p>篠宮 和行 (都市基盤部都市計画課長)</p> <p>落合 和弘 (都市基盤部都市計画課公共交通担当主幹)</p> <p>平田 規善晴 (都市基盤部都市計画課公共交通担当)</p>		
欠席委員 3 名	<p>委員 半田 武生 (焼津市自治会連合会)</p> <p>委員 菊池 雅子 (焼津商工会議所)</p> <p>委員 石野 雄大 (焼津青年会議所)</p>		
議事内容 (要旨)			
会議の成立	委員総数 13 名の内 10 名が出席。過半数を超えているため会議は成立。		
議題	<p>(1) (仮称) 大覚寺線及び (仮称) 下根方地区デマンド型乗合タクシーの検討経過について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (仮称) 大覚寺線についてアンケート調査の結果から検討した運行案と検討結果について報告。 ・ (仮称) 下根方地区デマンド型乗合タクシーの進捗状況について報告。(事務局) <p>○大覚寺線のルートは一方方向の回りだけか。(山内委員)</p> <p>⇒あくまで検討案だが、右回りと左回りの交互運行を想定している。(事務局)</p> <p>(2) 市内バス路線の利用状況及び運営基準による評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月までの利用状況から試算すると、大井川西部循環線が昨年に引き続き「抜本的見直しが必要」となる見込み。地元説明会やバス停別の時刻表の作成など利用 		

促進に努めたが利用が伸び悩んでいる。今後も利用促進に努めるが、同時に経費削減策も検討していかざるを得ない状況である。(事務局)

○路線バスの利用が伸びてるようなので安心した。大井川西小の登校児童のバス利用はどうなったか。(原川委員)

⇒今のところ学校から返事はない。(山内委員)

○各路線バスの増減の原因は把握しているのか。バス停別時刻表配布の効果はどうか。(岡本委員)

⇒しずてつジャストライン(株)でないと詳細は分からないが、増加理由としては高校の統廃合や渋滞緩和による定時制の改善など。減少理由としては自然減や減便によるものであると聞いている。バス停別時刻表については10月に配布しており、効果はまだ不明である。(事務局)

○6月の減少理由はなにか(岩崎委員)

⇒梅雨の季節であり外出を控えたり自宅からタクシーを利用される方が多いためであるかと推測される。(事務局)

○自治会で花沢地区を巡るバスツアーを企画し実施した。各団体のイベントで積極的なバス利用をお願いしたい。(岩崎委員)

○大井川西部循環線沿線地域の方にもっと危機感を持たせるようにすれば利用が増える可能性もあると思う。西地区の自治会長が集まった際にバスの利用について話をいただければと思う。(山内委員)

⇒機会をいただければ何度でも伺ってお話をさせていただきたい。(事務局)

○以前から提案をしているが、市内の史跡や桜などを見て回れるような一日乗車券の検討をしてみてはどうか。(山田委員)

⇒昨年度検討した経緯はあるが、再度検討をしたいと思う。(事務局)

(3) 一色和田浜線「浜一色福祉老人センター」バス停について

・一色福祉老人センターの廃止に伴うしずてつジャストライン(株)一色和田浜線の浜一色福祉老人センターバス停の廃止について説明。(事務局)

○同センターをさわやかクラブの役員が利用することがあるが、役員同士が乗合で来るケースが多くバスを利用するのは2人程度。(平田委員)

○身体障害者福祉協会では大富公民館に活動の場を移しており、利用はない。(山田委員)

(4) 平成27年度 自主運行バスの運行計画について

・焼津循環線、大井川焼津線及び大井川西部循環線は路線・ダイヤともに現行通りの運行とし、引き続き大井川地区の再編を検討する旨を説明。
・藤枝市の自主運行バスで焼津市に乗り入れをしている2路線のうち、西焼津駅水守線については藤枝市の継続基準である収支率15%を満たさないため、廃止する旨の連絡があったことを報告。(事務局)

○藤枝市では継続基準が一律収支率 15%以上だが。(山内委員)
⇒路線の状況が違い単純な比較はできない。焼津市では沿線人口の差異を勘案した基準を設定し、路線維持をするため改善をしていくための基準としている。

(5) 平成 27 年度 路線バス単独継続困難路線の対応について

- ・単独では継続が困難である路線バスについて、生活交通路線として財政支援などで路線維持を支援していく基本方針を説明。(事務局)

○申請番号 2, 3 など同じ路線でも補助しているものとしていないものがあるのか。(清水分会長)

⇒バスの補助は同じ路線でも起点終点で区別をしており、欠損がないものは補助をしていない。(事務局)